

## 第7回桑名市総合計画審議会 会議概要

日時・場所	平成26年6月5日（木）17:00～19:00 桑名市役所本庁舎 5階中会議室
出席者	委員：13名 市：2名 事務局：6名
会議次第	1 副市長あいさつ 2 事項 （1）序論、基本構想について （2）基本計画について （3）行政改革について 3 その他
概要 (主な意見)	2 事項 （1）序論、基本構想について ・文章の中に、『トレンド』などのカタカナ表記の言葉がみられるが、市が定める総合計画として、一般人向けの表記に改めた方が良くはないか。 ・総合計画は今後、10年間の市の基本となる計画なので、やはり市の10年先を見据えた計画でなければならないと思う。総合計画という性質上、全体を通して明るい未来を想像し市民に希望を与える計画も大切だが、イメージが先行して絵空事のようなものになってはいけない。もう少し現実的な部分について言及してもいいのではないか。 ・例えば、10年後には現在よりもさらに高齢化が進んでいるため、市としてそれについてどのように対策をたてるのか、そういった部分も示しておくのはいかがでしょうか。 ・「行財政改革の推進」の中で、『民間の経営資源（ヒト、モノ、カネ）を積極的に活用する』とあるが、市民の暮らしを支える基本的な部分を民間にゆだねてしまうと、コスト削減を理由にサービスのカットなどが起こりかねない。民間から学ぶことも大切だと思うが、行政側も努力をしていかなければならないと思う。  （2）基本計画について ・「コミュニケーション活動」の中で「コミュニケーション活動の推進」が基本事業に挙げられているが、「どこでも市長室」は今年中に全自治会を回り終えてしまう。今後も「職員と市民が対話する機会を充実させます」といっても、市職員は現在の業務だけで精一杯な感じがする。 ・基本事業や市の取り組みについては、10年先にはそうなりたいという思いがある。早期に実現が難しいものでも、例えば10年間で職員の意識改革をするということを計画に掲げることは間違いではないと思う。 ・各基本計画のはじめにある標語は、漢字表記の方が良いと思う。ひらがな表記されると読んだ時に意味が伝わらない。中学校三年生を基準としているのなら、漢字にふりがなを付ければ良いと思う。 ・各基本計画のはじめにある標語は、ひらがなばかりの言葉を読んでも伝えたいことがわからない。 ・「市民と行政のパートナーシップ」の標語「みつめあい・・・」とあるが、少し大袈裟ではないかと思う。 ・「男女共同参画」の標語の中に「やくわり」とあるが、役割が決まっている

- ということは分担があるということで男女が共に働き家事や育児をするという男女共同参画の趣旨とは違うと思う。
- ・ 標語は各基本計画を一言で表すキャッチコピーなので、内容については確認が必要であると思う。読む人によっては誤解を生みかねない。各委員もそれぞれの標語についてアイデアがあれば事務局へ伝えてほしい。
  - ・ 標語についてはリズム感も重要であると思う。
  - ・ 「コミュニケーション活動」の指標「情報発信の媒体数」が現状で6媒体とあるが、これが他自治体と比較して多いのか少ないのかわからない。また、「→（現状維持）」表記は、“推進していく”という意味に捉えられる可能性があると思う。
  - ・ 指標（矢印表記など）については見せ方を事務局でもう少し検討していただきたい。委員の皆さんからも良いアイデアがあればお願いしたい。
  - ・ 「消防・救急」の基本計画の中に、女性消防団の存在について記載してほしい。
  - ・ 女の子の台詞で「女性も消防団もあるんだね。私も参加しようかな。」などと言わせてもいいのではないかな。
  - ・ 「医療保険・生活保護」の10年後の目指す姿に「社会資源の活性化」とあるが、その言葉の意味が分からない。注釈を付けるか、わかりやすい言葉に替えてほしい。市の取り組みや市民の取り組みの部分も一つひとつが長いのもう少しコンパクトに分かりやすくしてほしい。
  - ・ 「消防・救急」の指標で「救急車の現場到着平均時間」を挙げているのは疑問。桑名市は他市町に比べて到着時間が早いと聞いている。指標とするのなら、けが人の「救命率」や「社会復帰率」にしてはどうか。
  - ・ 掲げた指標の現状の数値は、他自治体と比較してどのレベルなのか、ということ把握することは重要である。レベルによって指標の達成度も変わってくるので指標によっては現状維持であってもかまわない。
  - ・ 指標の方向性で↓とすると、ダウン（低下）していると捉えかねない。イラストには女性や子どもを入れると全体のイメージも変わる。文字が少なめにしているので、標語と絵が目飛び込んでくる。絵と標語は重要であると思う。
  - ・ 「上下水道」の10年後の目指す姿の中で「飲料水 1 m<sup>3</sup>の製造供給単価や・・・」という文書は、一般市民には分かりにくいのではないかなと思う。
  - ・ 「介護保険・高齢者福祉」の中で「地域包括ケアシステム」や「地域包括センター」という単語には注釈が欲しい。また、こういった言葉は10年後にも存在する言葉なのか確認をした方がよいのではないかなと思う。
  - ・ 全体として、かなり思い切った、総合計画のイメージを意図的に変えようとしているのは伝わる。
  - ・ 「防災」に災害の例として『巨大台風（スーパー伊勢湾台風）による高潮等』と言う文言を入れてはどうか。
  - ・ 言葉の使い方について、市として統一しておく必要がある。「障害者」なのか「障がい者」なのか。
  - ・ 子どもを3人育てられるまちを目指すのなら指標には『子どもを3人以上育てている世帯』にしてはどうか。3人目を産み育てるための障壁を取り除くための施策を検討についても必要ではないかなと思う。
  - ・ 市役所の各担当が指標を選んできているので選んだ理由があるはずである。指標を根本的に変えたほうが良いとは言わないが、根拠ははっきりとしておくべきである。
  - ・ 「医療保険・生活保護」の指標は小数点以下が小さすぎてよく分からない。
  - ・ 子どもを3人育てられるまちとして、『婚活』に関する取り組みを入れてほしい。独身世帯が少なくなれば、高齢者になっても助け合うことができる。
  - ・ 結婚したい人が結婚できるような、また、子どもを産み育てたい人が障壁なく育てようと思える市になるような文言を入れてみてはどうか。
  - ・ 「国際理解教育」の指標がわかりにくい。
  - ・ 指標の選出に迷ったら、まず市役所が取り組むことを挙げるというのも選択

	<p>肢の一つかもしれない。『英語で対応できる市職員の数を増やす』など。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産業の標語「まもろうよ うみのめぐみと かわのさち」は、「かわのめぐみと うみのさち」が正しい。また水産業の指標で漁獲高を挙げているが、毎年の天候等の要因により、漁獲量を抑えることもある。漁獲高を↑にすることが必ずしも良いこととは言えない。</li> <li>・「中心市街地」の中で、駅西周辺整備等が書かれているが、市民に対する進捗状況の定期的な情報発信を盛り込んで欲しい。</li> <li>・農林業に『多度のみかん』水産業に『のり』のことが具体名として挙げられていないが、市のブランド推進の方針として必要ではないのか。</li> <li>・「道路」の10年後の目指す姿が以下4つの☆と連動しない。『だれもが<u>快適に安心して</u>』としてはどうか。</li> <li>・「道路」の指標が現状が0となっている。数値として0のものを↑にするというのは表現として違和感がある。</li> <li>・全体が比較的やさしい表記なので指標が特別に目立って見える。表の色を暖色（オレンジ色等）に変えて説明文もできるだけ平易なものにしてほしい。</li> </ul>
担 当 課	市長公室 政策経営課